

## 2020年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年6月3日

上場会社名 J-ピープル  
 コード番号 7865 URL <https://people-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐渕 真人  
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子  
 四半期報告書提出予定日 2019年6月4日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年1月期第1四半期の連結業績(2019年1月21日～2019年4月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第1四半期	770	△18.1	36	△66.3	36	△66.1	23	△67.5
2019年1月期第1四半期	941	—	107	—	105	—	70	—

(注) 包括利益 2020年1月期第1四半期 24百万円 (△65.1%) 2019年1月期第1四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第1四半期	5.21	—
2019年1月期第1四半期	16.06	—

(注) 2018年1月期(期末)より連結財務諸表を作成しているため、2019年1月期第1四半期の対前年増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第1四半期	2,186	1,831	83.8
2019年1月期	2,451	2,078	84.8

(参考) 自己資本 2020年1月期第1四半期 1,831百万円 2019年1月期 2,078百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を2020年1月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2019年1月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	0.00	—	62.00	62.00
2020年1月期	—				

(注) 2020年1月期第2四半期末配当の有無につきましては7月中旬に、また、2020年1月期期末配当につきましては、通期連結業績見通しと連動し、年末商戦状況を見極めた上で勘案し、発表させていただきます。

### 3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日～2020年1月20日)

2020年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想(2019年1月21日～2019年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,625	△4.4	50	△50.2	49	△49.1	30	△51.8
								6.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第2四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第2四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年1月期1Q	4,437,500 株	2019年1月期	4,437,500 株
2020年1月期1Q	63,253 株	2019年1月期	63,253 株
2020年1月期1Q	4,374,247 株	2019年1月期1Q	4,374,248 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
【第1四半期連結累計期間】	5
四半期連結包括利益計算書	
【第1四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8
カテゴリ別販売の状況	8
①第1四半期累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なりニューアル商品	8

## 【添付資料】

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当43期第1四半期の日本経済は消費に底堅さはある一方、米中貿易摩擦や中国景気減速等を背景に景気後退局面を見せる等が入り交じり、極めて不透明に推移しています。また、年始以降の低調が一段落したかに見える玩具市場でも、令和改元発表を機に、世間の注目が超大型連休に移った4月商戦には買い控えが生ずる等、厳しい状況が見られています。

当社では、第1四半期の国内販売で玩具部門に厳しい側面はあるものの、自転車部門の好調や、育児部門では当四半期の新製品がGW前に流通期待先行の積み込みで想定以上に売上に寄与し、下支えしています。

しかし当四半期の海外販売で、米国向け「Magna-Tiles」の主な出荷が第2四半期に計画変更した事が主因となり当第1四半期累計の業績全体に影響し、国内外総売上高は7億70百万円、前年同期対比18.1%減となりました。

海外販売では「Magna-Tiles」の出航日の計画変更はありましたが、同商品のセルアウトは堅調で、海外販売部門売上は第2四半期で調整される見通しです。

厳しい玩具市場において特に抱き人形カテゴリーでは、当四半期で海外メーカーの銘柄が更に新登場し、停滞した抱き人形のシェアを分け合い各社厳しい環境に置かれています。当社の愛情シリーズではぼぼちゃんの誕生から23年間のイメージを刷新した新製品を続々と発売しております。2月「あたしのかわいい妹ぼぼちゃん」(税別4,580円)、3月「ぼぼちゃんのランドリールーム」(税別3,480円)、4月「あたしがママよ♡赤ちゃんぼぼちゃん」(税別5,000円)他、お道具2品等、いずれの新製品も単品では前年以上に好調な回転を見せており、GW前には当社シリーズへの期待の高さが伺える積み込みもありました。しかし、本格的に新商品が並ぶ6月度までは、当面低迷した市場平均並みに推移していく見通しです。

同玩具部門では、チャレンジ新商材を発売し期待を集めています。

1歳のお絵かきデビューにふさわしい“両手描き”クレヨンとお絵かきへの興味を引き出すDVDをセットした「1歳には知育クレヨン」(税別¥1,680)は玩具の領域を越えて潜在する知育需要の掘り起こしへのチャレンジとなります。店頭モニターを活用したコーナー展開等、積極的な店頭露出によりキャンペーンを開始しています。

1歳のいたずらアイテムとして人気急上昇中のテレビリモコンでは、“軽さ”と“薄さ”をリアルに再現した「知能リモコン」(税別¥1,780)を発売し、また乳幼児向けでは、赤ちゃんが手足をバタバタさせる時期にお膝に乗せるとカシャカシャ音や上部のキリンが大きく揺れ、赤ちゃんのお相手をしてくれる「全身を刺激セルフメリー」(税別¥1,980)が、SNSママモニターさんによる投稿をきっかけに指名買いにつながり、好調な初動を見せています。

自転車では「ケッターサイクル」の店舗拡販に相乗してセルアウト数が拡大し、ロコミが広がっています。育児シリーズではSNSで人気のチェア「ディハグシリーズ」に赤ちゃんが落ち着く“ママ抱っこの揺れ”を再現した「ディハグ ママスイング+ (プラス)」(オープン価格)と、ユーザーさんの声からより使いやすく改良した「Bebe Pocket Plus」(税別¥4,000)が発売開始されました。

上述のように海外部門売上が前年同期間に比べ大きく減収し、国内販売では依然営業利益の減益率の回復が遅れているため、当第1四半期の営業利益は36百万円、前年同期対比66.3%減となりました。経常利益は36百万円、66.1%減、当四半期純利益は23百万円、67.5%減と厳しい状況で推移しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末から2億65百万円減少の21億86百万円となりました。資産の部では、主に配当金及び法人税等の支払による現金及び預金の減少等で、流動資産が前連結会計年度末から2億90百万円減少しました。

負債では、流動負債で主に未払法人税等の減少等により、負債合計で前連結会計年度末から19百万円減少して3億55百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上の一方、配当支払等により、前連結会計年度末より2億47百万円減少して18億31百万円となり、結果、自己資本比率は83.8%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より1億24百万円減少し11億53百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上した一方、主に売上債権の増加、当四半期末入荷に伴うたな卸資産の増加等により1億56百万円の支出となりました。（前年同期間は24百万円の支出）

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得により30百万円の支出となりました。（前年同期間は5百万円の支出）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により2億10百万円の支出となりました。（前年同期間は2億18百万円の支出）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

（次期第2四半期連結累計期間業績予測）

海外販売において第1四半期の状況は一転して、次期第2四半期に出荷が集中し、前年同期間内の実績を大きく超え売上がリードする見通しです。一方国内販売においては、玩具市場全般に超大型GWの商戦で好調が続かず休み明けに補充注文が委縮する等、厳しい状況も見られるため、売上高は引き続き前年実績を数ポイント下回ることが想定されます。

従いまして、次期第2四半期累計段階で減収減益の著しい改善が見込めず、しばらく厳しい状況が続く見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,551,059	1,153,958
受取手形及び売掛金	360,899	450,213
商品	283,231	321,458
原材料	645	1,976
その他	52,077	30,870
貸倒引当金	△684	△852
流動資産合計	2,247,227	1,957,623
固定資産		
有形固定資産	45,113	69,561
無形固定資産		
その他	983	1,566
無形固定資産合計	983	1,566
投資その他の資産	158,079	157,356
固定資産合計	204,174	228,484
資産合計	2,451,402	2,186,106
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,847	149,493
未払法人税等	120,502	7,302
その他	107,224	194,422
流動負債合計	373,574	351,217
固定負債		
繰延税金負債	-	3,840
固定負債合計	-	3,840
負債合計	373,574	355,057
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,664,271	1,415,872
自己株式	△34,233	△34,233
株主資本合計	2,031,543	1,783,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,553	47,529
為替換算調整勘定	1,732	376
その他の包括利益累計額合計	46,285	47,905
純資産合計	2,077,828	1,831,050
負債純資産合計	2,451,402	2,186,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年4月20日)
売上高	940,908	770,344
売上原価	550,124	445,412
売上総利益	390,785	324,931
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	39,331	38,173
販売促進費	35,842	31,925
運賃	34,253	37,920
役員報酬	18,455	18,705
給料及び手当	43,012	44,501
退職給付費用	-	3,093
支払手数料	21,934	26,157
研究開発費	39,039	40,565
その他	51,697	47,807
販売費及び一般管理費合計	283,562	288,846
営業利益	107,222	36,085
営業外収益		
受取利息	57	55
その他	1	32
営業外収益合計	58	87
営業外費用		
為替差損	2,266	593
その他	0	0
営業外費用合計	2,266	593
経常利益	105,014	35,579
税金等調整前四半期純利益	105,014	35,579
法人税、住民税及び事業税	27,373	5,268
法人税等調整額	7,385	7,507
法人税等合計	34,759	12,775
四半期純利益	70,255	22,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,255	22,804

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年4月20日)
四半期純利益	70,255	22,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△325	2,976
為替換算調整勘定	135	△1,356
その他の包括利益合計	△190	1,620
四半期包括利益	70,065	24,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,065	24,425

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月21日 至 2018年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月21日 至 2019年4月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	105,014	35,579
減価償却費	5,769	8,406
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,476	△89,314
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8,372	△39,558
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,967	3,645
その他	△4,832	38,503
小計	82,814	△42,739
利息及び配当金の受取額	57	55
法人税等の支払額	△107,219	△112,954
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,348	△155,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,451	△29,955
無形固定資産の取得による支出	-	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,451	△30,355
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△217,866	△209,767
その他	20	155
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,846	△209,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	163	△1,342
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247,481	△396,946
現金及び現金同等物の期首残高	1,524,600	1,550,355
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,277,118	1,153,409

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

①第1四半期累計期間(個別)売上高の前年同期対比

(単位 千円)

カテゴリー名	2019年1月期 第1四半期 (自2018年1月21日 至2018年4月20日)	2020年1月期 第1四半期 (自2019年1月21日 至2019年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	322,806	312,515	96.8
女兒玩具	108,970	80,315	73.7
遊具・乗り物	141,439	152,355	107.7
その他・海外販売	368,015	222,146	60.4
合計	941,231	767,332	81.5

注) 上記表の数値は、前第1四半期および当第1四半期ともに個別業績の売上高を記載しております。

②新発売商品及び主なリニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	「やりたい放題セレクト」(リニューアル)	¥3,480
	ピタゴラスシリーズ「小学生ピタゴラス」(1・2年生、3・4年生、高学年)計3種	各¥3,480
	ノンキャラ良品シリーズ「なめられ太郎4代目」	¥550
	同 「刺激たっぷりなめもみ花子」	¥550
	同 「頭が育つボトルラトル」	¥680
	同 「新素材ビニール ゴザピタバック」	¥880
	同 「筋トレバーガー」	¥680
	「お水の知育(エンドレス循環式)」(リニューアル)	¥3,780
	「うちの赤ちゃん世界一 全身を刺激セルフメリー」	¥1,980
	「5種の知脳ボタンで脳が育つ!知脳リモコン」	¥1,700
女兒玩具	お人形「あたしのかわいい妹ぼぼちゃん リンクコーデアクセつき」	¥4,580
	お人形「あたしがママよ 赤ちゃんぼぼちゃん お世話お道具つき」	¥5,000
	「ぼぼちゃんのおしゃべり弁当」(リニューアル)	¥1,980
	「ぼぼちゃんのごくごくペットボトル ぶどう」	¥780
	「ぼぼちゃんのランドリールーム」	¥3,480
その他	「テディハグ ママスイング+」	オープン価格
	「Bebe Pocket Plus」(チャコールグレー、ネイビーブルー)	各¥4,000
	「1歳には知育クレヨン」	¥1,680